

図書だより

2019 5月号
八丁平小学校図書室
家読週間特集号

家読（うちどく）週間がはじまります。

学校では授業が始まる前の時間を利用して、全員が好きな本を読む「朝の読書」が定着しています。八丁平小学校でも毎週水曜日の10分間を『あさどくタイム』とし、全校一斉で、静かに本を読む時間を設定しています。

「朝の読書」を通して読書が習慣化し、読書の楽しさを知っている子どもたちをお手本にして、今度は家で家族みんなで本を読む新しい読書スタイル「うちどく（家読）」という習慣を5年前から提唱しています。



家読（うちどく）とは。。。

「うちどく（家読）」は家族で読書の習慣を共有することです。

家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。

これが「うちどく（家読）」の基本です。

難しいルールは要りません。家族みんなでルールを決めて始めてみましょう。同じ本をみんなで読めば、会話もいっそう弾みます。また、お互いに本をすすめあう、家族そろって本屋さんで本を選ぶなど、読む本について相談しあうことでもコミュニケーションが深まることでしょう。

（うちどくのホームページより）

【期間】 5月13日（月）～16日（木）

月曜日の放課後からスタートです。ご協力お願いします。記入は17日まで。18日は、自由に読む日とします。

【八丁平小学校の取り組み内容】

「家で本を読もう」というよびかけですので、一人10分以上を目標に本をよむようにしてください。もちろんすでに習慣になっているお子さんは、何分でも読んでよいです。読んだ時間（○分間）をカードに書きますので、覚えておいてほしいです。きれいな字で書かれた「うちどくカード」を、学年で数名選んで図書室前に掲示し、紹介する予定です。



◇本を家でも楽しく読むための取り組みです。用事などで読書の時間が取れない場合は、無理をしないでください。

◇本を静かに集中して読めるように家族のみなさまにもご協力をお願いします。

◇可能な限り、おうちの人も一緒に本を読むきっかけにしていきたいと思ひます。

◇家に本がない場合などは、学校の図書室を利用するようにお願いします。

（期間中は一度に3冊まで貸し出しています）

◇学校の本（特に絵本）を借りるときは、手さげぶくろなどを持たせていただくようお願いひします。

